

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	紹介議員氏名	付託委員会名	議決結果
24年第4号	24.3.5	<p>東海第二原発の再稼働中止・廃炉を求める請願</p> <p>原発への安全神話が崩壊した今、自然エネルギーを推進し原発への依存度を段階的に下げなくてはならない。</p> <p>東海第二原発については老朽化に加えて度重なる事故が後を絶たず、今後事故が起きた場合関東全域に予測不能で甚大な被害が発生する可能性があることから再稼働中止、廃炉にすべきと考える。</p> <p>同原発を巡っては、県内19の市民団体関係者が再稼働中止・廃炉を求めて10万人を超える署名を県に提出した。また、既に県内の4市町村議会が廃炉・脱原発の意見書を可決し、3月定例会では県内約20の市町村議会で審査が行われる予定になっている。</p> <p>経済産業省総合資源エネルギー調査会基本問題委員会にて、原発30キロ圏内の避難について知事は「本県では94万人が対象となり、一度に避難することは現実的に困難。今後、国がどういう方針を出すのか注目している。」原発については「全て再稼働、全て廃炉のどちらも難しいと考える。経過年数などを加味して国で基準を設けることが必要ではないか」と述べた。</p> <p>東日本大震災による津波では、東海第二原発もあと数十センチで発電機が水没する事態に陥った。東京との距離が福島第一原発の半分、約100キロの東海第二原発で同様の事故が起これば茨城、日本の再生は極めて困難であると容易に想像できる。</p> <p>子供達の未来を豊かにできるのか、できないのか、私達は子供達の豊かさを決める分岐点にいる。安易に全てを国に任せるのではなく、目先の経済的利益で判断することなく、子供達の明るい未来の為に考え、意思を示さなくてはならない。</p>	<p>子どもの未来を考える会 守谷 代表 龍田 浩行</p>	梶岡博樹	防災環境商工	不採択

県議会議員の皆様には、その責任がある。子や孫の世代に豊かな茨城を繋ぐことが我々大人の役目なのである。よって、下記事項を請願する。

記

政府・日本原子力発電に対し、茨城県議会として東海第二原発の再稼働を認めず廃炉を求める意見書を提出すること。